

京水労ニュース



水循環命と 水がめぐる道

No.11

2026年1月9日

教宣部長 稲田 智己

4期8年を務めあげた村井市労連委員長が退任 ～京都市労連第82回定期大会～

市労連 第82



2025年12月12日に京都市労連第82回定期大会がラボール京都で開催されました。今大会では、4年8期京都市労連の執行委員長を務められた京水労の村井特別執行委員が、任期満了により退任となり、新たに選出された佐田市労連委員長（京交）からも、就任あいさつの中で労いの言葉が掛けられました。

村井特別執行委員の市労連委員長在任中は、給与カットや新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、市労連に集う私たち京都市職員の生活基盤を脅かす事案に見舞われました。市労連委員長として私たち組合員の先頭に立ち、常に京水労とも連携しながら、組合員とその家族の生活を守るため奮闘いただきました。本当にお疲れ様でした。

村井特別執行委員は、現在疏水記念館で勤務されています。今回は、村井特別執行委員に市労連委員長を退任された現在の心境や、自身の組合活動のルーツについてインタビュー形式でお話を伺いましたので、是非裏面もご覧ください。

福利厚生部からのお知らせ

♪きょうとリフレッシュプラン

のご利用について♪

使用期限が残り少なくなっていますので、お早めにご利用下さい。

わかりづらいことや、わからないこと等があれば、右記の連絡先にお問い合わせ下さい。

その他、ご質問があれば職員課給与厚生担当までご連絡下さい。

ご不明点は専用フリーコールまでお問合せください。

きょうとリフレッシュプラン お問い合わせ窓口

お問い合わせの際は「きょうとリフレッシュプラン」利用とお伝えください。

●ログインID・パスワードに関するお問合せ

【きょうとリフレッシュプラン ログインID・パスワードお問合せ窓口】

☎ 0120-052-310

フリーコール 営業時間 / 10:00～18:00 休業日 / 年末年始(12/30～1/3)

●制度内容に関するお問合せ ●商品・共通利用券発送に関するお問合せ

●お申込みにおけるWEB操作のお問合せ

【きょうとリフレッシュプラン専用フリーコール】

☎ 0120-937-451

フリーコール 営業時間 / 平日10:00～21:00 土日祝10:00～17:00 休業日 / 年末年始(12/29～1/3)

※上記フリーコールは携帯電話(スマートフォン)からご利用いただけます。
※ベネフィット・ステーションのメニュー内容に関するお問い合わせにはお答えできません。

10～12月分の行動費の支給日：1月14日(水)から

村井特別執行委員の組合活動のルーツとは

自身が労働組合に入った道というのは、初めて配属された職場で、頑張ってる職員のかいた汗が報われなかったとういうのを見たことにある。自分の思いを上手く話せないとか、少し仕事の要領が悪いとか、人付き合いが苦手ということで損をしている、そういう人をこれまでに何人も見てきた。困っている人が声を挙げやすい、また助け合いの雰囲気ができるように職場の中で働きかけたことで、まだ若かったが分会役員の先輩から声が掛かって分会に入った。職場を良くするために時には組合員の家へ自身が出向いて話をしたり、そういった活動をしていたことで当時の青年婦人部（現在の青年部）から声がかかり、それが自身の運動のスタートになった。困っている人がいれば見て見ぬふりはできないし、中途半端に終わらずに決着をつけないといけない。「無理を通せば道理が引っ込む」道理が引っ込めば何が起きるか。正義が守れなくなる。正義を守ることを第一に組合活動に取り組んできた。

市労連委員長の仕事を終えて現在の心境・組合員に伝えたいこと

まずは市労連委員長の仕事を全うすることができ、ホッとしているところが正直な現在の心境である。京水労は来年 80 周年を迎えるが、京水労の根底にあるものが綱領である。戦後「労働組合」という名前がまだできる前に、生活が苦しい、働いても安いお金しかもらえない、労働者が使用者側に搾取されている時代があった。そんな状況で一人では会社に立ち向かえない、そこで労働者が集まったのが労働組合である。原点は「みんなでやれば何とかなる、全員でしっかりと団結しなきゃならん」、そういった思いで労働組合が作られた。綱領には、組織として一番大事にしないといけない部分、後世にしっかりと伝えていかないといけないことが記されている。いわば組合の成り立ちとも言える部分で、永久的に変えることはできない。労働者が搾取される原因となったものは何か、それが戦争であり、だから最大の人権侵害である戦争に反対する精神が綱領に組み込まれた。命を守る闘いが労働組合の原点であり、宿命である。だから組合員は綱領を心に刻んでおかないといけない。

京水労の素晴らしいところは、非組合員をほぼ出していないところである。80 年の歴史があり、管理職であっても当然元組合員であり、現場での技術力、対市民の対応力が問われた全てが直営であった時代の影響も色濃く残っている。衛生的にも厳しい現場で誰もが嫌がる仕事にも誇りを持って取り組み、その厳しい職場環境を少しでも良くするために取り組んできたのが労働組合である。労働組合の相互扶助、弱者救済の精神、自分が良ければいいと考えるのではなく、組合員それぞれがお互いを思い合って素晴らしい組織を守ってほしい。先輩たちが流してきた血と涙の闘いの歴史、80 年というのは半端な長さではない。京水労は組織としては成熟しているが、さらに執行部が判断して肉付けをしていかないといけない。組合を応援する側となって少し寂しい思いもあるが、自分の思いというのは今の執行部がしっかりと受け継いでくれている。一組合員として、しっかりと応援していく。